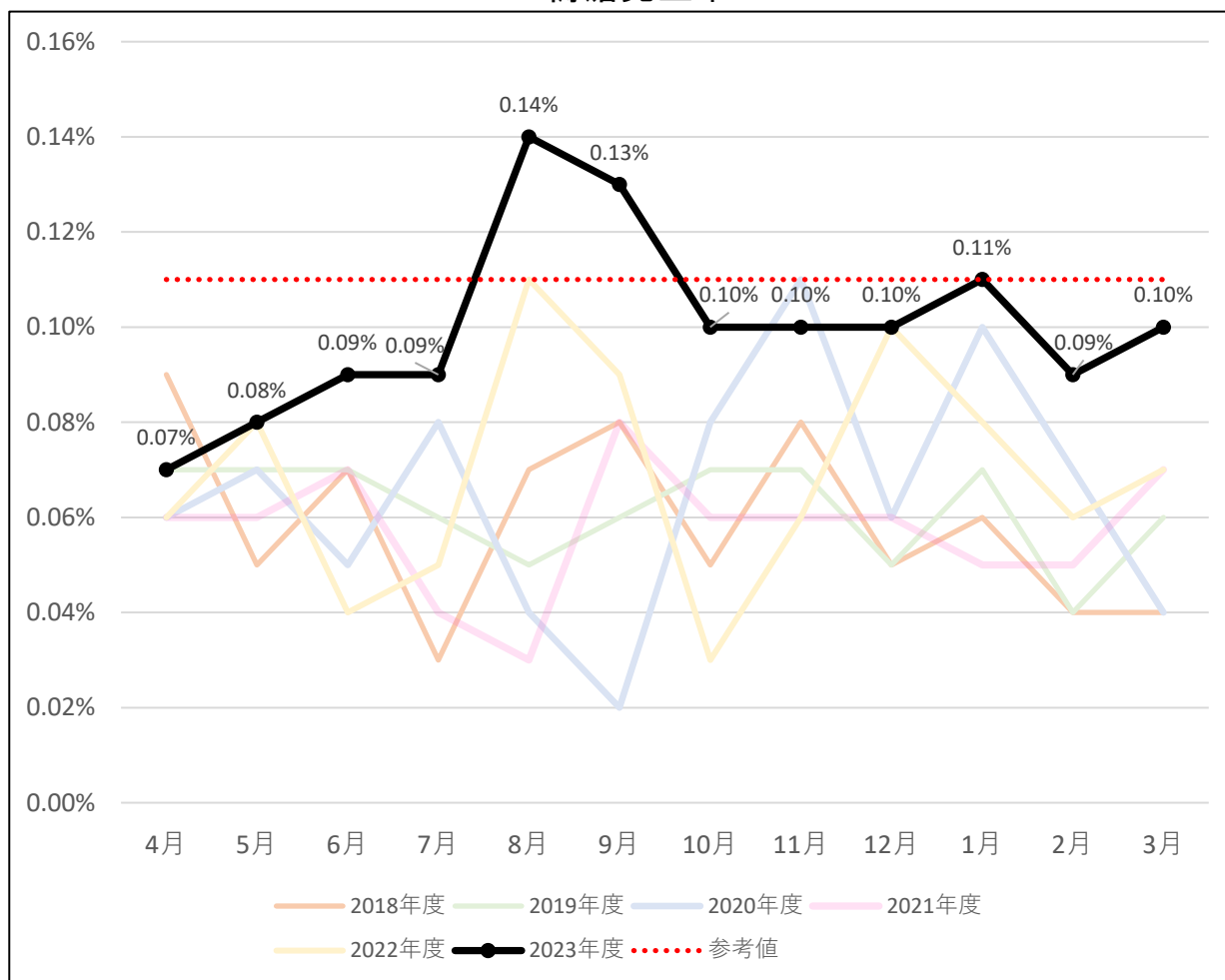


4.褥瘡発生率



分子	深さd2 ^{注1} 以上の褥瘡の院内新規発生患者数
分母	入院延べ患者数 (同日入退院患者または褥瘡持込患者または調査月間以前の院内新規褥瘡発生患者を除く)
参考値	0.11% (2022年度QIプロジェクト参加施設の平均値)
説明・考察	<p>[指標の意義] 褥瘡発生率は看護ケアの質を評価する重要な指標のひとつです。褥瘡は患者のQOLの低下や感染症の発生など、患者の転帰に大きな影響を及ぼすだけでなく、入院期間の長期化や医療資源の追加投入など医療費の増大にもつながります。</p> <p>(注1) 深さd2: 真皮までの損傷</p> <p>[考察] 2018年度以降もっとも高い発生率で推移し8月と9月は参考値を超えてしまいましたが、年間平均では参考値を下回りました。 引き続き褥瘡対策チームと病棟の看護師が連携して、患者さんの褥瘡発生防止に努めていくことが求められます。</p>